

平成 27 年度
事業報告書
(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

社会福祉法人
ひらか福祉会

法人理念

明るく、楽しく、生き生きと自分らしく生きるお手伝いをさせていただき、居心地の良い「いえ」を共に創ります。

第1部 社会福祉法人ひらか福社会 事業報告

1. 法人運営報告

全職員でより良いサービスを共有、実行し、地域サービス一番施設になる。

平成27年度は、職員の働く仕組みを充実させて利用者サービスの向上に結びつけることで、地域で一番のサービス施設となることを基本方針として取り組んだ。昨年度から始めた「成長シート」を随時修正し、自分の頑張りが評価されるしくみをさらに進化させることができた。

しかし、かがり火においては施設長をはじめ幹部職員の退職が続き、体制を建て直すことが精一杯で目標稼働率達成には程遠い数字となってしまった。合わせて、今回は初の介護報酬のマイナス改定の影響もあり、収入では2億9,938万円と前年度比92%という結果に終わってしまった。支出では2億6,552万円とこちらは前年度比98%であり、収支差額は3,386万円と前年度比64%（1,907万円減）であった。

今後、ひらか福社会としてさらに地域の利用者さまと働く職員双方にとって魅力ある法人とし、介護保険以外の自費サービスにも活路を見出しながら地域福祉のニーズに応える運営を目指していきたい。

2. 経営報告

I. あやめ苑のトータル年間稼働率 95%以上の達成

月	特養	ショートステイ	合計
4月	92.40%	89.05%	93.33%
5月	90.55%	95.62%	92.20%
6月	96.55%	86.67%	92.25%
7月	97.33%	93.32%	96.02%
8月	92.77%	92.40%	92.65%
9月	89.54%	90.95%	90.00%
10月	96.55%	81.57%	91.67%
11月	95.98%	93.81%	95.27%
12月	97.00%	85.25%	93.17%
1月	94.44%	91.71%	93.55%
2月	91.55%	92.86%	91.18%
3月	87.87%	88.94%	88.37%
年間	93.80%	89.89%	92.52%

II. ケアプランセンターかがり火の利用者平均 60 人の達成

月	新規人数	契約解除人数	担当人数	達成率
4月	3人	2人	38人	63.33%
5月	4人	3人	39人	65.00%
6月	2人	2人	40人	66.67%
7月	4人	3人	40人	66.67%
8月	3人	4人	41人	68.33%
9月	2人	3人	40人	66.67%
10月	2人	3人	39人	65.00%
11月	4人	3人	41人	68.33%
12月	1人	2人	40人	66.67%
1月	2人	2人	40人	66.67%
2月	5人	2人	43人	71.67%
3月	2人	1人	43人	71.67%
年間	34人	30人	40.33人	67.22%

Ⅲ. ショートステイかがり火の年間稼働率 95%以上の達成

月	ショートステイ	合計
4月	91.22%	91.22%
5月	83.55%	83.55%
6月	81.44%	81.44%
7月	76.45%	76.45%
8月	81.61%	81.61%
9月	84.73%	84.73%
10月	81.51%	81.51%
11月	80.67%	80.67%
12月	83.01%	83.01%
1月	83.01%	83.01%
2月	82.53%	82.53%
3月	88.17%	88.17%
年間	83.16%	83.16%

3. 重点事業目標

I. 財務目標

- ・営業活動の活性化による稼働率及び収入の安定

幹部職員の営業研修を中心として、地域への情報発信に力を入れ、あやめ苑、かがり火のフェイスブックの開設や地域交流会を開催することができた。稼働率については目標達成することができなかったが、来期においてはさらに情報発信に努め絶対に目標達成したい。

II. 組織目標

- ・職員に魅力ある職場づくりのための「成長シート」の充実

昨年度から準備してきた「成長シート」を活用した人事考課制度を本格的に開始することが出来た。3ヶ月ごとに成長支援会議を開催し、公平な評価で個々の職員の頑張りを認めるしくみが完成した。今後は評価を報酬に反映させ、さらに内容の充実を図っていききたい。

- ・あやめ苑、かがり火の合同営業会議による組織体制及び運営体制の強化

二ヵ月ごとに外部講師を招いて幹部職員が、より実践的な営業研修会を行った。固定観念にとらわれずに様々な気づきを得ながら、施設の魅力の発見やアピールの仕方を学んだ。組織体制及び運営体制の強化についてはまだまだ至っていないが、地域で一番に顧客ニーズに対応できる施設を目指していきたい。

Ⅲ. サービス目標

- ・「いつでも」、「誰でも」、「同じサービス」を提供することを基本としたサービスの平準化

介護手順委員会を中心に法人のサービスの平準化を目指して取り組んだ。職員個々への研修の徹底については今後も力を入れていかなければならないが、全体として活動に対しては評価できるものであった。さらに全体のレベルアップを目指して今後も取り組んでいきたい。

- ・「食事がおいしい施設」として評判の施設となるよう職員研修及びソフト食等の介護食のこだわりを持った取り組みを行い、ホームページで情報公開していく。

あやめ苑において、普通の食事を食べることが困難な利用者さまのために「凍結含浸食」という見た目はそのままでも柔らかい食事の調理方法の導入に取り組んだ。完成はもう少し先となるが、県内で取り組んでいる施設がまだなく、今後の施設の目玉となるようしっかりと取り組んでいきたい。

4. 法人運営報告

(1) 理事会の開催

第1回理事会 5月22日	報告第1号	あやめ苑 施設運営状況について	—
	報告第2号	かがり火 施設運営状況について	—
	緊急議案	かがり火 施設長の任免について	承認
	議案第1	平成26年度ひらか福祉会 事業報告	承認

	号	について	
	議案第 2 号	平成 25 年度ひらか福祉会 収入支出決算書について	承認
	議案第 3 号	ひらか福祉会 給与規程の一部改正について	承認
	議案第 4 号	ひらか福祉会 就業規則の一部改正について	承認
	議案第 5 号	ひらか福祉会 定年再雇用規程の一部改正について	承認
第 2 回理事会 12 月 10 日	議案第 1 号	ひらか福祉会 新理事の選任について	承認
	議案第 2 号	ひらか福祉会 定款の一部改正について	承認
	議案第 3 号	ひらか福祉会 給与規程の一部改正について	承認
	報告第 1 号	あやめ苑 施設運営状況について	—
	報告第 2 号	かがり火 施設運営状況について	—
第 3 回理事会 3 月 17 日	報告第 1 号	あやめ苑施設運営状況について	—
	報告第 2 号	かがり火施設運営状況について	—
	議案第 1 号	ひらか福祉会 平成 27 年度補正予算(案) について	承認
	議案第 2 号	ひらか福祉会 平成 28 年度本部、施設事業計画 (案) について	承認
	議案第 3 号	ひらか福祉会 平成 28 年度収入支出予算書について	承認
	議案第 4 号	ひらか福祉会 就業規則の一部改正について	承認
	議案第 5 号	ひらか福祉会 給与規程の一部改正について	承認

(2) 監査の実施

監事名	監査実施日	監査項目
柴田監事	平成 27 年 5 月 15 日	法人定款第 11 条の規定に基づき、平成 26 年度事業に係る理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況
菊地監事	平成 27 年 5 月 15 日	

第2部 特別養護老人ホームあやめ苑 ショートステイあやめ苑 事業報告

1. 重点運営方針

◎強い組織づくりと安定したサービスの提供を確立するとともに、地域に根差した施設として認知度向上を図る。

平成27年度は介護保険法が4月に改正され、経営・運営面で様々な不安を抱えながらスタートしたが、稼働率維持が施設経営にとって強い組織づくりの根幹になるものと考え、意識しながら進めてきた。しかし、特養への入所の仕組みの検討や人員体制が安定しないなどが課題となり、年間を通じて波のある施設運営になった。

そのような中、利用者さまに対するサービスの平準化と安定化という点では、個々の知識習得の面からは外部講師を依頼した研修を計画的に実施できた。そして介護手順委員会では、安定した偏りのないサービスが提供できるよう、「各種手順書」の検討・作成が実施され、現在もあやめ苑の介護スタンダード作りが継続中である。地域連携を図るという点では、営業会議で話し合った中から、地域に根差した地域密着施設としての認知度を向上させるために「介護保険説明会」や「腰痛予防講座」を開催し、地域住民や利用者さまご家族に向け情報発信してきた。地域の方々の集客面など改善点は多かったが、我々との情報格差を知ることができたことなどの収穫もあり、確実に第一歩は踏み出せたと実感できた。

今後も継続的に安定した施設運営のために稼働率に着目していき、地域の皆様との情報格差を埋める活動を通じて施設の認知度向上を目指していく。

2. 経営報告

I. 特養・ショートの間稼働率95%以上の達成を目指す。

平成27年度の年間稼働率は、特養93.80%、ショートステイ89.89%、あやめ苑全体では92.52%だった。特養では入所時に要する時間がかかるなど、時間差を減らすしくみづくりが進まなかったこと、ショートでは定期利用者さまの変動等があったことなどから、昨年度に比べ稼働率の維持が難航した。やはり要となる特養の稼働率維持は大命題であり、利用者さまの健康維持と入退所時の時間を短縮することで稼働率を安定させ来期の目標達成に臨みたい。

II. 無駄をなくし、昨年を経費対比98%を目指す。

職員一人ひとりに節約の意識が根付いていることから、今まで自分たちで節約できるもの（水道光熱費や消耗品費、給食費など）は昨年比で削減することができた。しかし、社会保険料負担増による人件費や経年劣化による備品の買い替え・設備の修理などで、結果的に約 200 万円の支出増となった。経費削減については、利用者さまに迷惑をかけない範囲でまだ改善の余地はある。皆でそれを共有し、経費削減によって生まれる利益を職員に還元できるようにして、魅力のある仕事・やる気につなげていきたい。

3. 運営活動報告

I. 会議報告

会議名	開催頻度	参加者
幹部会議	月 1 回	幹部職員（10 名）
	あやめ苑の運営に関わる議案全般に対して、幹部職員が各部署の代表として話し合った。	
リーダー会議	月 1 回	ユニットリーダー（5 名）、介護主任（2 名）
	ユニット運営における諸問題やユニット間の調整や幹部会議への議案等の話し合う機会とした。	
ユニット会議	月 1 回	各ユニット職員
	利用者さまのケアに対する検討会やユニット目標及び取り決めの機会として行った。	
各委員会会議	概ね月 1 回	各委員会職員
	下記委員会活動報告参照	
入所調整委員会	利用者退所時に随時	入所調整委員会メンバー
	利用者さまが退所し、居室が空室になった場合に各部署担当と話し合っって次の入所の方を選定した。	

II. 委員会及び係活動報告

各種委員会及び係活動により利用者さまにとって有益な「暮らしの場」となるよう職員全員でより良い施設を目指す。

- (1) リスクマネジメント委員会（介護事故の予防対策、苦情受付、対応、解決）

毎月委員会を開催し、介護事故の分析や苦情への対策を協議及び実施。情報の伝達と共有がスムーズに行くよう努めた。

(2) 医療行為安全対策委員会（介護職員による医療行為に対する安全管理、運営）

毎月委員会を開催し、介護職員によるたん吸引や経管栄養等の医療行為の体制作りや安全管理活動の推進に従事。LL 財団への委託研修事業にも職員を受講させ、修了者も出すことができた。

(3) 余暇活動委員会（行事やレクリエーションの企画、実行）

毎月委員会を開催し、三大大行事であるあやめ苑夏祭り、あやめ苑敬老会、あやめ苑新年会の企画運営補助を担当。その他余暇の過ごし方については、毎月定期的に利用者さまと職員が一緒に楽しめる活動を実施した。

(4) 感染症対策・褥瘡予防委員会（感染症・褥瘡の予防、対策）

毎月委員会を開催し、感染症・褥瘡を予防するための感染対策マニュアル見直しや職員研修などの活動を推進。感染情報を会議録に添付するなど、職員への注意喚起も積極的に実施できた。

(5) 食生活向上委員会（食事に関する企画、提案、調整）

毎月委員会を開催し、利用者さまのより良い食事に向けて食べやすさや提供方法などについての協議及び実施。口腔ケアについての内部研修も実施できた。

(6) 高齢者虐待防止・身体拘束廃止委員会（虐待行為、身体拘束の防止、対策）

毎月委員会を開催し、身体拘束者の廃止に向けた取り組みの協議及び実施したが、高齢者虐待防止については掘り下げた話し合いや意見交換が不足した。職員研修は実施できた。

(7) 災害対策委員会（災害時の施設対応及び備蓄品の立案、管理）

毎月委員会を開催し、災害時の対応マニュアルの整備及び備蓄品の管理・検討を実施。

(8) 介護手順委員会（介護手順の検討、提案、調整）

毎月委員会を開催し、あやめ苑のスタンダードとなる介護手順を検討し、マニュアルの作成・見直しや職員への伝達研修などを推進。

(9) 介護用品管理係（介護用品の発注、管理）

介護用品の適正な発注・管理を実施。

(10) PC・ND ソフト管理係（パソコンでの記録管理、運営、チェック）

NDソフトの変更等に応じて、内容のチェックや記録を管理。

(11) 敬老会企画係（敬老会の企画、運営）

敬老会の企画管理、運営について他職種と連携・実行した。

(12) 新年会企画係（新年会の企画、運営）

新年会の企画管理、運営について他職種と連携・実行した。

(13) ホームページ運営係（ホームページの更新、企画、運営）

ホームページの更新とフェイスブックの立ち上げ・運用を実行した。ホームページともリンクし、タイムリーにあやめ苑の活動状況を利用者目線・職員目線で情報提供した。

Ⅲ. 行事報告

日	行事名	主催	参加者
4月7日	不在者投票	特養・ショートユニット	利用者 18名
4月18日 ～24日	花見ドライブ（旧市内・十文字町・増田町）	各ユニット	利用者 35名
4月28日	外食（市内レストラン）	ショートユニット	利用者 5名
5月2日	苑外お茶会	特養ユニット	利用者 15名
5月7日	余暇活動（花かご作り）	特養・ショートユニット	利用者 18名
5月9日 ～15日	芝桜見学（大森町）	各ユニット	利用者 24名
5月20日	苑内喫茶	特養・ショートユニット	利用者 22名
5月25日	外食（市内回転寿司）	ショートユニット	利用者 3名

6月3日	余暇活動（チャーム作り）	特養・ショートユニット	利用者 18名
6月16日	障害者スポーツ大会（横手市）	特養ユニット	利用者 1名
6月24日 ～7月4日	あやめ祭り見学（浅舞公園）	特養・ショートユニット	参加者 25名
7月2日	苑外喫茶	特養ユニット	利用者 17名
7月8日	余暇活動（合唱）	特養ユニット	利用者 12名
7月21日	外食（市内回転寿司）	特養ユニット	利用者 7名
7月31日	あやめ苑夏祭り	あやめ苑	参加者 全員
8月12日	余暇活動（花火ポスター作り）	特養・ショートユニット	利用者 14名
8月16日	三味線演奏会（ボランティア）	特養ユニット	利用者 17名
8月26日	苑内喫茶	特養・ショートユニット	利用者 23名
9月6日 ～9日	緑花苑見学（大雄）	各ユニット	利用者 9名
9月16日	なべっこ	特養ユニット	利用者 14名
9月19日 ～20日	浅舞八幡神社祭典	特養・ショートユニット	利用者 23名
9月24日	敬老会	特養・ショートユニット	参加者 全員
9月28日	米寿の祝い（横手市）	特養ユニット	利用者 3名
10月4日	バラ展見学（横手市）	特養・ショートユニット	利用者 11名
10月14日	苑内喫茶	特養・ショートユニット	利用者 25名
10月22日	さつまいも贈呈（樽見内保育所）	特養・ショートユニット	利用者 11名

10月24日	障害者スポーツ大会(横手市)	特養ユニット	利用者1名
10月28日	外食(市内回転寿司)	特養ユニット	利用者3名
11月2日 ~6日	横手菊まつり(秋田ふるさと村)	特養・ショートユニット	利用者16名
11月3日	忠義な猫カラオケ大会(浅舞公民館)	特養・ショートユニット	利用者7名
11月11日	余暇活動(クリスマス飾り作り)	特養・ショートユニット	利用者12名
11月17日	そば打ち	特養・ショートユニット	利用者12名
11月27日	歌謡ショー(上畑温泉さわらびボランティア)	特養・ショートユニット	利用者19名
12月7日	浅舞感恩講保育園おゆうぎ会	特養・ショートユニット	利用者10名
12月9日	余暇活動(年賀状、絵馬作り)	特養・ショートユニット	利用者16名
12月23日	クリスマスバイキング	特養ユニット	利用者14名
12月27日	餅つき	特養・ショートユニット	利用者20名
1月11日	書初め	特養・ショートユニット	利用者8名
1月13日	新年会	特養・ショートユニット	利用者30名
2月3日	すしバイキング	特養・ショートユニット	利用者28名
2月6日	えびす俵奉納(よこて市商工会青年部)	特養・ショートユニット	利用者10名
2月10日	余暇活動(節分ゲーム)	特養・ショートユニット	利用者7名
3月1日	三味線演奏会(ボランティア)	ショートユニット	利用者12名
3月9日	余暇活動(懐かし歌)	特養・ショートユニット	利用者11名

3月16日	手話サークル歌の会(雄物川ボランティア)	特養・ショートユニット	利用者13名
2月17日	横手地区高校等2年生向け企業説明会	法人本部	参加者3名

※各ユニットの出前や定期的行うユニット調理、お誕生祝いを除く。

IV. 地域活動報告

活動内容	スケジュール	内容
第1回運営推進会議	4月15日	施設運営状況報告 他
介護保険説明会(協力:横手市高齢ふれあい課)	6月6日	改正内容の説明、入所相談 他
第2回運営推進会議	6月16日	施設運営状況報告 他
新規高卒予定者企業説明会(横手市開催)	7月24日	企業PR、介護の仕事について 他
福祉の就職フェア in 秋田(秋田市開催)	8月10日	企業PR、介護の仕事について 他
第3回運営推進会議	8月25日	施設運営状況報告 他
献血	9月9日	献血への協力(職員11名)
第4回運営推進会議	10月19日	施設運営状況報告 他
腰痛予防講座(協力:横手市健康推進課)	12月12日	ボディメカニズム講座、らくらく体操 他
第5回運営推進会議	12月15日	施設運営状況報告 他
横手養護学校職場見学	2月3日	仕事見学、意見交換
第6回運営推進会議	2月16日	施設運営状況報告 他
横手地区高校等2年生向け企業説明会	2月17日	企業PR、介護の仕事について 他

4. 研修報告

I. 外部研修

参加日	研修名	主催	参加者
5月1日 ~28日	喀痰吸引50時間研修 実地研修(胃ろう)	秋田県長寿社会振興財団	介護士/田牧 菜保子
5月25日 ~6月8日	喀痰吸引50時間研修(講義)	秋田県長寿社会振興財団	介護士/三浦 友里

6月23日	平成27年度調理技術研修	秋田県社会福祉協議会	調理師／築瀬 友絵
6月10日 ～12日	ユニットリーダー研修（講義）	日本ユニットケア推進センター	介護士／藤本 陽子
6月17日 ～19日	ユニットリーダー研修（講義）	日本ユニットケア推進センター	介護士／大久保 良彦
7月6日 ～10日	ユニットリーダー研修（実地）	日本ユニットケア推進センター	介護士／藤本 陽子
7月13日 ～17日	ユニットリーダー研修（実地）	日本ユニットケア推進センター	介護士／大久保 良彦
6月22日 ～23日	喀痰吸引指導者養成講習	秋田県長寿社会振興財団	看護師／佐藤 裕馬
10月20日 ～3月31日	喀痰吸引50時間研修 実地研修（吸引）	秋田県長寿社会振興財団	介護士／田牧 菜保子
10月15日 ～16日	秋田県個別ケア職員研修	日本ユニットケア推進センター	介護士／佐藤 亜由美 介護士／榊原 悦子
10月20日	評価者（アセッサ）集合研修	キャリア段位事業部	介護主任／小田島 富男 介護主任／能登谷利江子
8月6日 ～12日	喀痰吸引の実技演習	秋田県長寿社会振興財団	介護士／三浦 友里
12月3日	福祉実践2015 in あきた	秋田県社会福祉協議会	介護主任／小田島 富男
9月10日	労働局管理者研修	秋田労働局	施設長／佐藤 淳一
8月31日 ～9月1日	平成27年度介護職員研修Ⅰ（組織性）	秋田県社会福祉協議会	介護士／熊澤 糸子
10月1日	凍結含浸食導入研修	社会福祉法人神聖会	施設長／佐藤 淳一 栄養士／小野寺 佐紀子
10月14日 ～16日	ユニット管理者研修	日本ユニットケア推進センター	施設長／佐藤 淳一
11月2日	高齢者虐待防止セミナー	秋田県長寿社会振興財団	施設長／佐藤 淳一
11月9日 ～11日	秋田県ユニット管理者研修	日本ユニットケア推進センター	施設長／佐藤 淳一

12月6日	上級救急救命講習	横手市消防本部	介護士／熊澤 糸子
2月2日	福祉保健施設長研修	秋田県社会福祉協議会	施設長／佐藤 淳一
2月19日	介護保険制度研修	(株)博コーポレーション	施設長／佐藤 淳一 介護主任／小田島 富男
2月24日	労務管理者研修	秋田労働局	施設長／佐藤 淳一

Ⅱ. 内部研修

日	研修名	主催	参加者
4月8日	新入社員研修	幹部会議	職員 3名
4月22日	介護職員向け接遇研修	幹部会議	職員 15名
5月13日	身体拘束・高齢者虐待防止研修	身体拘束・高齢者虐待防止委員会	職員 11名
6月9日	認知症研修	幹部会議	職員 9名
6月17日	褥瘡研修	感染症対策・褥瘡予防委員会	職員 14名
8月21日	介護手順研修(排泄交換・食事介助)	介護手順委員会	職員 11名
9月18日	介護手順研修(研修報告)	介護手順委員会	職員 11名
11月11日	感染症予防研修	感染症対策・褥瘡予防委員会	職員 11名
11月18日	リスクマネジメント研修	リスクマネジメント委員会	職員 12名
11月20日	介護手順研修(入浴介助)	介護手順委員会	職員 8名
12月1日 ・15日	口腔ケア研修	食生活向上委員会	職員 15名
3月14日	介護手順研修(リネン交換等)	介護手順委員会	職員 10名

第3部 ショートステイかがり火 ケアプランセンターかがり火 事業報告

1. 運営方針

◎地域機関との連携強化とかがり火の職種間連携体制の充実を図る。

昨年度は地域の連携強化という点ではあやめ苑同様に地域交流の場を開催した。集客の方法等については今後も検討・改善の必要性があるものの、交流の場としての大きな一歩を踏み出す事が出来たと思う。

しかし、介護職員の医療知識の不足と研修制度の不足により医療重度者の受け入れの必要性があるものの、今現在での受け入れが難しい局面も出て来ており、地域機関との連携更なる強化までは達する事が出来なかったと感じる。

職種間の連携体制については前施設長を含めた幹部職員の退職や育児休業による夏場の人員不足を職員の連携・協力体制のもと乗り越えることが出来た。今後も地域機関並びに職種間でも連携をさらに強化していきたい。

また、各部門については目標に対し達成した点、達成出来なかった点があったが、総括するとほぼ達成出来たと思われる。今年度は昨年度の反省を踏まえ、各部門で立てた目標を確実に達成できるように職員へ方針及び目標を何度も繰り返して伝えていく。

2. 経営報告

I. ショートステイかがり火の年間平均稼働率 95%を目指す。

平成 27 年度は長期利用者様の利用が多く、利用者様の入所の確定や急な入院等による利用減をなかなか埋める事が出来ずに年間平均稼働率が 82.92%と目標よりも大幅に下回ってしまった。しかし 2 月～3 月にかけて新規利用者が計 20 名ほどおり回復傾向が見られている。今後については長期利用者よりも定期利用者を増やすようにしていきたい。

II. 各部門ごとの経費削減対策を強化し、前年度対比 2%の減少を目指す。

昨年度は各部門で経費削減に取り組み、経費率では前年対比 76.6%と大幅な削減となり、また部門で取り組める部分については前年よりも 1,343,758 円の削減を行い、部門での前年度対比は 7.9%の減少となった。今後も昨年度の削減を維持しつつ、より削減を目指していきたい。

3. 運営活動報告

I. 会議報告

会議名	開催頻度	参加者
部署長 会議	月1回	幹部職員（6名）
		かがり火の運営に関わる議案全般に対して、幹部職員が各部署の代表として話し合った。
介護会議	月1回	介護職員
		利用者さまのケアに対する検討や目標及び伝達研修の機会として行った。
各委員会 会議	概ね月1回	各委員会職員
		下記委員会活動報告参照

II. 委員会活動報告

各種委員会活動により利用者さまにとって有益な「暮らしの場」となるよう職員全員でより良い施設を目指す。

- (1) リスクマネジメント委員会（介護事故の予防対策、苦情受付、虐待行為、身体拘束の防止、対策対応、解決）

毎月委員会を開催し、介護事故の分析や苦情への対策を協議及び実施。

- (2) レク委員会（行事やレクリエーションの企画、実行）

毎月委員会を開催し、現場行事の企画運営を担当。その他余暇の過ごし方について検討及び活動を実施。

- (3) 感染症対策・褥瘡予防委員会（感染症・褥瘡の予防、対策）

毎月委員会を開催し、感染症や褥瘡予防の対策や研修会を担当。また、施設内の環境美化活動について助言をする。

- (4) 給食委員会（食事に関する企画、提案、調整）

毎月委員会を開催し、施設のより良い食事に向けて提供方法や食事に関するレクリエーションなどについての協議及び実施。

III. 行事報告

日	行事名	主催	参加（対象）者
4月27日	花見ドライブ	レクリエーション委員会	利用者3名 職員2名

5月10日	母の日プレゼント	レクリエーション委員会	女性利用者
5月21日	チャレンジデー 2015	レクリエーション委員会	利用者 15名 職員 7名
6月16日	和菓子バイキング	給食委員会	全利用者
6月21日	父の日プレゼント	レクリエーション委員会	男性利用者
7月24日	第3回かがり火夏 祭り	幹部会議	地域住民・利用者 全職員
8月15日	心太（ところてん） つき	給食委員会	全利用者
8月27日	納涼花火会	レクリエーション委員会	全利用者
9月17日	敬老会	幹部会議	全利用者
9月27日	月見団子作成	給食委員会	全利用者
10月17日	羽後病院祭見学	羽後病院	利用者 6名
10月25日	月見団子作成	給食委員会	全利用者
10月16日 ～27日	紅葉見学（ドライ ブ）	レクリエーション委員会	利用者 20名
11月1日	羽後町福祉大会	羽後町社協	職員 3名 利用者 7名
11月4日	そば打ち	給食委員会	全利用者
12月24日	クリスマス会	レクリエーション委員会	全利用者
12月28日	餅つき	レクリエーション委員会	全利用者

H28年 1月9日	かがり火新年会	幹部会議	全利用者
2月3日	節分	レクリエーション委員会	全利用者
2月13日	犬っこ祭見学	レクリエーション委員会	利用者6名 職員3名
2月26日	ケーキバイキング	給食委員会	全利用者
3月3日	ひな祭り	レクリエーション委員会	女性利用者
3月8日	ホットケーキ実演 提供	給食委員会	全利用者
毎月下旬	誕生会	レクリエーション委員会	誕生月の利用者 (2名～5名程度)
不定期	食に関するレクリ エーション	レクリエーション委員会	全利用者

IV. 地域活動報告

活動内容	スケジュール	内 容
第1回地域交流会（介護 保険制度説明会）	6月5日	改正内容の説明、入所相談 他
第2回地域交流会（トロ ミ剤研修）	11月28日	嚙下の仕組み、トロミ剤体験 他

4. 研修報告

I. 外部研修

日	研 修 名	主 催	参 加 者
5月21日	介護支援専門員勉 強会	羽後町地域包括 支援センター	管理者／小野寺かずみ ケアマネ／藤田望美
6月23日	調理技術研修	秋田県社会福祉 協議会	調理員／原田亜子
8月20日	介護支援専門員勉 強会	羽後町地域包括 支援センター	管理者／小野寺かずみ ケアマネ／菊地恵美子 相談員／清水広子

8月26日	防ごう感染症	羽後町福祉会 ひばりの園	栄養士／小野かおり 総務／奥州常幸 介護員／米沢友希
9月23日	介護支援専門員勉強会	羽後町地域包括 支援センター	管理者／小野寺かずみ ケアマネ／菊地恵美子
11月7日	床ずれ防止のための 姿勢管理	(株)ケアマックスコーポ レーション	機能訓練士／小野友巳
H28 2月2日	福祉保健施設長研 修	秋田県社会福祉 協議会	管理者／小野寺かずみ
2月19日	介護保険制度の今 後の方向性につい て 他	(株)博コーポレー ション	管理者／小野寺かずみ
2月19日	「職業倫理と法令 順守」 「仲良しコミュニ ケーション」	(株)博コーポレー ション	介護主任／阿部祐子
2月23日	介護職員等による たん吸引等研修事 業における指導看 護師研修会	秋田県長寿社会 振興団	看護主任／藤原ノリ子
2月24日	労務管理研修	秋田労働局	管理者／小野寺かずみ
3月3日	羽後町在宅医療多 職種研修会	羽後町地域包括 支援センター	ケアマネ／菊地恵美子
3月13日	救急救命講習	湯沢消防本部	介護員／奥州常幸 猪岡晃司

II. 内部研修

日	研修名	主催	参加者
4月8日	新入職員研修	あやめ苑	介護士／小松美華 施設長／熊谷寛永
4月22日	接遇マナー研修	あやめ苑	職員3名
5月13日	身体拘束高齢者虐 待研修	あやめ苑	職員3名

6月9日	認知症研修	あやめ苑	職員3名
11月下旬～ 12月上旬	嘔吐物処理について	感染症委員会	全介護職員
12月中旬	陰洗及びオムツ研修会	介護職員	全介護職員
H28 2月中旬	オムツ研修（再確認）	介護職員	全介護職員
3月10日 ・31日	高齢者の栄養について	給食・感染症委員会合同	職員23名